

SEA TRIAL

MAGICAL 10×5.3m

AVENTURA 10 Power

モーターカタマランに新しいマーケットを創造する「AVENTURA CATAMARANS(アベンチュラ)」。

最新のデザイン、最新のマテリアルで、今までにない10mのモーターカタマランを生み出した。

「AVENTURA 10 Power」は、モーターカタマランの常識を覆し、全く新しい顧客を生み出している。

AVENTURA CATAMARANSが、スモールカタマランの新しいデザインとトレンドを生み出すベンチマークとなるだろう。

text: Yoshinari Furuya photo: Makoto Yamada
special thanks: WINCKLER www.sports-w.com





ゆるやかな弧を描く美しいシアライン。船体とキャビンの均整のとれたスタイリングは一流のデザインスタジオならではの。そして、フラットで広いアフトデッキと、モノハルをはるかに凌ぐ余裕のフライブリッジ。セーリングカタマランからの派生モデルではない、モーターカタマラン専用のデザインが可能にしたものだ。



10m = 33フィートの体躯に実現された ビーム5.3mの驚くべきモーターカタマラン スタイリッシュなスモールカタマラン「AVENTURA」が、やがて世界のトレンドになる

日本に初上陸を果たした「AVENTURA 10 Power (アベンチュラ10パワー)」。このモーターカタマランは、「AVENTURA CATAMARANS (アベンチュラ)」という新しく紹介するカタマランビルダーのもの。AVENTURA CATAMARANS は、2000年に2人のフランス人、Romain Rogerとその父親Eric Rogerが設立したビルダーだ。

フランス国内でモノハルのセールボート建造に携わっていたRogerは、地中海の対岸であるチュニジアに移住。2000年から、Camping Cat 23、Diabolo 28と名付けた沿岸キャンプ用の小型カタマランを建造。そこからAVENTURA CATAMARANSの歴史が始まった。



Roger親子が選んだチュニジアは地中海に面した北アフリカの国。古代にはローマ帝国の版図であり、1881年から1956年まではフランス領チュニジアとして、フランスによる統治が続いた歴史がある。現在はアラビア語が公用語であるが、独立前はフランス領であったこともあり、アラビア語とフランス語の両方が使われている。歴史的な関係性や共通の言語、地中海に面した利便性の良いロケーション、コストから、多くのフランス企業が進出し、生産拠点としているのだ。日本ではあまり知られていないが、AVENTURA

CATAMARANS以外にも、フランスのビルダーや部品メーカーなどマリン関連の工場も数多い。

チュニジアで建造が始められたCamping Cat 23とDiabolo 28は、後に、AVENTURA 23、AVENTURA 28と名称を変更し、AVENTURAブランドに統一。2007年には、AVENTURAで設計された最初のモデル、AVENTURA 20を発表。続いて、2010年にはAVENTURA 33、2012年にはAVENTURA 43のワールドプレミアを果たす。ビジネスは順調に拡大し、2015年には首都チュニスの北西、ビゼルト湖の湖畔、Menzel Bourguiba港に工場を移す。ビゼルト湖は地中海と運河でつながる湖。その中心の街ビゼルトは、アフリカ大陸最北端のブラン岬から15km。フランスに最も近いチュニジアの港として栄えている。

*

2016年、AVENTURA 初となるエンジン駆動のカタマラン建造が始まる。それが「AVENTURA 10 Power」。ヤードでは、別ブランドのモノハルセールボートやフィッシングボートも建造していたが、カタマランに特化するために建造を終了。2017年の終わりには、AVENTURA 20、

AVENTURA 23、AVENTURA 28の生産も終了し、ラインナップのリニューアルを発表する。

2018年モデルからはAVENTURA 34と、AVENTURA 44のセーリングレンジ、AVENTURA 10のパワーレンジのデザインを一新。これら3モデルは、BALI CATAMARANSなどのデザインも手がけるフランスのアーキテクトLasta Design Studioとのコラボレーション。洗練されたデザインに刷新され、ワールドクラスのカタマランビルダーとして成長路線に入る。そして、2020年にはパワーレンジのAVENTURA 14、2021年にはセーリングレンジのAVENTURA 37とニューモデルのデビューも予定している。

「AVENTURA 10 Power」は、セールを持たないエンジンだけで走るモーターカタマラン。全長9.98m、フィートで言えば33フィートのボートと同じ長さ。だがビーム(全幅)は5.30mと、33フィートのモノハルとは別次元の居住性を誇る。そこにLasta Design Studioにより、品質や機能性だけでなくデザイン性も加わった。ロープロファイルでワイドな先進のデザ



インが、小型モーターカタマランマーケットに革命を起こしている。

スターンから始まるシアラインは、水面から綺麗な曲線を描いてデッキまで立ち上がり、ミジップでピークをむかえパウに向かい緩やかに低くなる。美しいパウラインは走行時には水平に近づき、前方視界を確保する機能的なデザイン。停船時に、やや逆傾斜するパウのステムは、水線長を伸ばすとともに、全長に対し居住空間を最大に広げるデザインでもある。ロングノーズ&ショートデッキのバランスは、真横から見るとカタマランとは思えないスポーティで美しいデザイン。モダンなヨーロピアントローラーのようだ。だが、5.30mのビームは、モノハルのサロンクルーザーでいえば70フィートクラスと同等。上方から見てほぼ長方形のデッキ投影面積は50㎡以上。パウのラウンジスペースとアフトデッキ、エンジンルームを除き2階層の構造となっているので、パウデッキ、サイドデッキ、アフトデッキ、フライブリッジ、メインサロン、左右キャビン、ストレージを合わせた面積

はモノハルでいえば50フィートクラスに迫る広さだ。

そして、カタマラン最大のメリット。それは、スタビリティ。特に静止時や低速時の安定性に優れ、ローリングはほとんどない。当然、モノハルに搭載するジャイロスタビライザーやフィンスタビライザーなど、ローリングを軽減するための高価な制御装置を必要としない。また、細く流線型の接水面により比較的燃費も良く、エンジンは小型でコンパクト。多くの複雑なシステムを搭載しないことで、メカニカル的なトラブルも少なく、メンテナンスにかかる時間も軽減される。それは、長距離を航海するクルージングボートにとっても重要な事だ。

*

乗船は、トランサムから大きく飛び出した左右のデッキから。スターボードサイドにはスイミングラダー。その側にはシャワーが備わる。このトランサムは、アフトデッキとバリアフリーでつながる広く歩き易いスペース。

Lasta Design Studioが提案するカタマランのパウデッキ。トランポリンネットの常識を打ち破るパウラウンジのデザインは、パウデッキにもう一つのリビングをもたらした。このスペースがあることで、アンカーリング作業も安全に行うことができる。



ゲートで区切られてはいるが、フラットなアフトデッキの一部でもある。

そのアフトデッキは、幅4.7mに及ぶテラスラウンジ。後端には、オプション装備された4人掛けのU字型ソファと大型のチークトップテーブル。スタンダードはハルの後端でトランサムが立ち上がり、電動でフラットに開く仕組み。やはり、ゆったりとくつろげるオプション装備のU字型ソファがありがたい。

2段のチークステップからサイドデッキへ上がりパウへ向かう。サイドデッキは、広いところで幅60cm以上。ワイドなサイドデッキはボートに慣れていないゲストや子供にも歩きやすい。

パウデッキはAVENTURA CATAMARANSの特徴の一つ。それは、パウ先端までFRPのハードボトムで覆われたハルに、深く掘りこまれたサンタンラウンジ。その空間には5人が座ることができるU字ソファ。深さは、低めのパウ側でおよそ80cm。高いところで92cmあり、走行中でも安全性が高い。パウ側の中央には折りたたみ式のチークテーブルがあり便利。テーブル前部のハッチ内にはウィンドラスが装備され、底はチェーンロッカー。パウを覗き込めばアンカーローラーが下に向き、アンカーが固定さ

れている事がわかる。アンカーを船体の中央から降ろす理想的なポジション。しかも、深いパウラウンジ内に立ってアンカー作業ができるので、安全で作業しやすい。アンカーのアップダウンは、ヘルムステーションのリモコンスイッチで行う。操船しながらアップダウンでき、ウィンドラスに負担が少ない。デザインや快適性だけでなく、機能性も高いパウラウンジは、今後モーターカタマランのスタンダードになるだろう。

*

アフトデッキからチークのステップを9段上がりフライブリッジへ。フライブリッジはサロンクルーザーと同じようなオーソドックスなレイアウト。フライブリッジに上がるハッチ前方、スターボードサイドにはBBQグリルとリフリジェレーターがインサートされたコンソール。そのコンソールを背もたれにした一体型のベンチシートがヘルムシート。

ヘルムステーションはシンプルなもの。ステアリングホイールとスロットルレバーの他には、GPSプロッターやエンジンモニターなど必要最小限の航海計器が装備される。ポート側にはチークトップの大型のセンターテーブル。それを囲むように5人がゆったりと座ることができるU字ソファ。ス

33フィートのフライブリッジにBBQグリル、アフトデッキにソファラウンジ。モーターカタマランでなければ搭載することは難しいエクステリアの数々。高い居住性と安定性を備えたモーターカタマランが、チャーターボートの世界で急増するのもうなすける。



33フィートではありえないサロンスペース。大型ソファのダイネットに機能的なフルギャレー、ダブルベッドの3キャビン+2ヘッド。50フィートクラスのモノハルに匹敵するアコモデーションは、モーターカタマランの最大の魅力だ。コンパクトで低燃費な最新YANMARエンジンによるランニングコストの低さも、メリットの一つ。

ターン側は最後尾までクッションパッドが続くサンタンベッド。カタマランだけに許されたワイドなビーム、ワイドなキャビンが、モノハル艇ではかなえられないゆとりのフライブリッジを生み出している。

ワイドなビームは、リクスなサロンも生み出した。キャビンドアを開けると、光に包まれた明るいサロン。左右サイドウィンドウの下は、デザインされたカウンタートップ。スターボードサイドには、大型のオープンギャレー。ENOの3口コンロや電子レンジ、フロントローディングのリフリジェレーターが備わる。ギャレーと対面するポートサイドにはL字ソファ。調和のとれたシンプル&コンフォートなインテリア。33フィートとは思えない余裕のサロン空間だ。

そして、サロン前方もまた、スタイリッシュなコンソールとしてデザインされている。コンソールの目の前にはパイロットシート。船体の中心線上にセットされたヘルムシートは、視認性もよく機能的で使いやすい。

サロンからスターボードサイドに降りていく。正面にはデザインされた縦長の2つのハルサイドウィンドウ。スター側はダブルベッドのゲストステートルーム。ハルサイドだけでなくトランサムウィンドウからも光が入り、明るく、広く感じる。前方センター寄りの高い空間にもゲストステートルーム。そして、両ステートルーム用のヘッドルームが、ハルのバウ側に装備されている。

再びサロンからポートサイドに。3キャビンバージョンのこの艇は、ポートサイドがマスターステートルーム。スター側のキャビンはスターボードサイドと

ほぼ同サイズ。違いはバウ側で、独立したシャワーブースを持つ専用のヘッドルームとなる。ストレージも増え、使いやすい人気のオーナーバージョンだ。

*

2基のエンジンは、アフトデッキ左右のフロアハッチの下。パワートレインは、オプションのYANMARディーゼル。250馬力を2基搭載。Vドライブのインボードがスペースを有効に使う。

エンジンを始動する。操船をするフライブリッジでは、アイドリング音も振動もほとんど感じることはない。2基のエンジンを使い離岸。クイックにその場回頭し、マリーナを出港する。

港を出て加速。1,000回転で6.3ノット、1,500回転で7.3ノット、2,000回転で8.5ノット、2,500回転で11.3ノット。3,000回転で15.8ノット、最大回転数は3,500回転、トップスピードは18.8ノットを記録する。クルージングスピードの15ノット前後で旋回。ステアリングを目一杯切るが、バンクはしない。横Gを受けながら、大きな弧を描いてゆっくりと旋回し、抵抗がかり減速する。これは、排水型のクルージングカタマラン特有の性質。高速だからといってクイックに旋回するわけではない。高速では、抵抗のない真直ぐな走りが良い。旋回は減速して、ステアリング操作と左右のスロットルをコントロールして小回りをする。

シーワージネスを試すため、正面から引き波に入る。バウの浮力は十分

にあり、波を左右にさばき、叩くことなく波を切り進む。追い波の時でも、十分な浮力でノーズが刺さる感じもない。本船の引き波をほぼ並行に受けて走る。ローリングとは違うカタマラン特有の波を乗り越える動きはあるが、安定した姿勢で揺れの収束も早い。剛性が高く、歪みや、きしみ音は皆無だ。

*

セーリングカタマランから派生したモーターカタマラン。世界的なマーケットの拡大に伴い、AVENTURA CATAMARANSのようなビルダーが増え、ニューモデルが開発されている。かつてはスタビリティの問題からセーリングカタマランは38フィート以上とされ、同じハルを使ったモーターカタマランも当然38フィート以上に限られていた。

だが、モーターカタマランの人気の高まり、チャーターボートで使われるようになると、専用設計のモーターカタマランが続々と登場。設計手法も素材も進化し、安全面も担保された。自由な設計は、市場の求める手頃な大きさにダウンサイジング。その流れから生まれたブランドの一つが、AVENTURA CATAMARANSなのである。

33フィートの「AVENTURA 10 Power」がかなえる、これまでに見知ったボートとは異なる、まったく新しい世界。今までにないサイズや新しいデザインが新しい市場を形成し、モーターカタマランは新たな顧客を生み出している。 **P.B.**



AVENTURA 10 Power

全長 9.98 m
全幅 5.30 m
喫水 0.80 m
重量 6.4 ton
エンジン 2× YANMAR 4LV
最高出力 2× 250 HP
燃料タンク 1,000 L
清水タンク 500 L
問い合わせ先 ウィンクレル
www.sports-w.com/yacht



YouTube